



# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	農林環境専門職大学(仮称)学生寮	階数	地上3F
建設地	静岡県磐田市富丘	構造	S造
用途地域	一種中高専、指定なし	平均居住人員	200人
地域区分	7地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年7月1日
敷地面積	4,099㎡	作成者	栗本 剛光
建築面積	1,472㎡	確認日	2020年9月18日
延床面積	3,876㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 86%  
③上記+②以外の 86%  
④上記+ 86%

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

### LR 環境負荷低減性

**LRのスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> これはCASBEE静岡(2016年度版)による評価結果です。		<b>その他</b> 農林環境専門職大学という事もあり、教育の一環として、寮生が各寮室設けたフラワーポットで季節毎の花を育てる。この事により、地域環境、景観の向上に貢献する。
<b>Q1 室内環境</b> 寮室-寮室間及び上下階間の遮音に配慮した。空調はルームエアコン。	<b>Q2 サービス性能</b> 寮室は全てWi-Fi環境とする。維持管理については、内装防汚対策、外部鋼材は亜鉛メッキ、外部ダクトはSUS等又、各水廻り事にSK及び掃除具入れ、各PSIに点検口などに配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 極力、既存樹木(桜)の保存及び新規植栽に努めた。地域環境に配慮した高さ及び色彩計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 寮室の外皮熱負荷制御に努めた。(外壁: t50現場発泡ウレタンフォーム、サッシ: Low-e複層ガラス)	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 仕上げ材のリサイクル材採用に努めた。床フローリング(基材)、腰壁羽目板に県産材(杉)を使用する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 通風に配慮した配置及び高さ計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される